平成30年2月20日発行（毎月1回20日発行）

ふるさとへの思いと絆をつなぐ広報誌

2 2018 February No.81

# ふるさとだより

久之浜・大久、四倉、平、小名浜、勿来

ふるさとだよりの記事が動画で!!

マークのある記事にスマホやタブレットをかざすと動画が見られます!（見方はP8）

## 久之浜・大久

久之浜・大久地区
復興対策協議会会長
（西町1区長）

**木田　寿夫** さん

### オール久之浜・大久でまちづくりを

時が経つのは本当に早いもので、震災の前の年に西町1区長となり、2年前からは久之浜・大久地区復興対策協議会の会長も兼務し、忙しい毎日です。

区長としては、西町1区ふれあい協議会支え合い活動や買い物等の外出支援ボランティアを始めました。このような活動を継続的に行うことが、久ノ浜・大久の未来に繋がると感じています。

2月16日、県と市、そして復興対策協議会との間で「久之浜防災緑地づくり協定」を結びました。防災緑地の維持管理やこれからのまちづくりへ向けて、若い力が必要です。今後とも、オール久之浜・大久で取り組んでいきたいと考えております。

昨年11月29日、要望書「久之浜・大久地区の観光振興及び活性化について」を市に提出する木田会長（右）

## 四　倉

四倉地区体育協会
会長

**石井　和男** さん

### 若い世代に参加を呼びかける

以前は体協主催で、現在は実行委員会が主催するビーチバレーボール大会は、四倉海水浴場で毎年7月に行われ、昨年で23回目となりました。震災後の3年間は開催を見送りましたが、再開直後の大会では少なかった参加チーム数も、昨年は震災前の約7割まで戻りました。

またニュースポーツ大会は、震災後、地域の子どもたちにも参加を呼びかけて、市青少年育成市民会議四倉地区推進協議会と共催で行っています。

若い世代が少なく、ソフトボールやバレーボールの大会は参加チームが減っていますが、若者への参加を呼びかけつつ、今後も大会を継続していきたいです。

四倉小の体育館で開催されたニュースポーツ大会の開会式で、あいさつをする石井さん

## 平

民宿業

**鈴木　哲夫** さん

### 地域活性化を目指す三代目

家業を継ぐために、湯本温泉の旅館で修業し、約10年前から両親と一緒に民宿と海の家を経営しています。薄磯では若手後継者が減っていましたが、震災で、さらに拍車がかかり、寂しく感じています。震災当時、地元消防団員として捜索活動をしながら、浸水した民宿の修繕をしていた時は、「民宿や海の家の再開は無理」と諦めかけたこともありましたが、町の復興事業などで作業員の宿泊などの需要があり、その年の9月から民宿を再開することができました。

多くを失いましたが、きれいな海岸と海は残りました。海とともに生き、この町を盛り上げていきたいと思っています。

いつか地物の新鮮な魚でもてなせる日を願って宿泊客の料理を作る鈴木さん

## 小名浜

環境水族館
アクアマリンふくしま
館長

**安部　義孝** さん

### 水族館から福島の復興と魅力を発信

震災では、1階が津波で水没し、館内が停電したことにより、展示生物の約9割を失いました。その後は、「なんとしてでも甦らせたい」という思いで、職員と多くのボランティアの方々とともに、必死でゴミやヘドロの片付けをしました。また、交流のあった動物園や水族館にご協力をいただき、ついに震災の約4ヵ月後、開館記念日でもある7月15日に再オープンを果たしました。

今年11月には、小名浜魚市場とその周辺を会場として、世界水族館会議を開催します。「震災から再起した水族館」ということで世界中が注目しており、福島の復興と魅力を発信したいと思っています。

1月1日、アクアマリンふくしまで開催されたお正月イベント「新春餅まき」で紅白の餅を撒く安部館長(左)

## 勿　来

関の子広場パトロール隊
(関田須賀区長)

**佐々木　茂** さん

### 大切な町を守ることが、私たちの役目

勿来駅前には、地域住民が主体となって運営している「民間公番『関の子広場』」という施設があります。もともとは地域の安全・安心拠点施設として機能していましたが、震災時にはこの広場を中心に、さまざまな活動が行われました。住民の安否確認から始まり、支援物資の配布や危険箇所の確認・注意喚起など、隊員が一丸となって動いていました。

震災後は須賀地区だけでも10数件の住宅が無くなり、活動できる隊員も減少しました。そのようななか、現在は、約40名の隊員が頑張っています。私たちの活動を多くの方に知ってもらい、安全・安心で活気ある町にしていきたいです。

地区のハザードマップを参考に、隊員とともに避難場所の確認を行う佐々木さん(右から2人目)

## いわき市社会福祉協議会

**生活支援相談員のみなさん**

### 誰もが住み良い「いわき」を目指して

生活支援相談員は、被災された方の生活復興や自立生活支援などを目的に、平成23年7月から配置されました。ピーク時は市内の約2、200世帯を30名で担当していましたが、現在は11名が在籍しています。主な活動としては、被災された方の見守り訪問をはじめ、仮設、雇用促進、災害公営住宅での交流事業の開催、また、市の関係部署と連携しながら、各自治会の立ち上げ支援なども行ってきました。

今後は、災害公営住宅で生活する高齢者が孤立しないよう見守りながら、コミュニティを形成していくことが課題です。そして、いわき市社会福祉協議会が取り組んでいる「住民支え合い活動」を推進するため、ひとりひとりに寄り添いながら活動を続けていきます。

# 復興に向けた動き

震災後から、市内の沿岸地区を中心に行われてきた数々の復興事業により、この7年で姿を変えた「ふるさとの今」を、写真とともに紹介します。

## 久之浜・大久

末続、金ケ沢、田之網で進められた復旧復興工事。今年度末に工事終了の予定です。

### 末続川河口

推定９ｍともいわれる津波で破壊された河川、海岸堤防復旧工事

### 金ケ沢見渡神社

平成26年4月の植樹祭後、大きく変わった神社境内

### 田之網海岸堤防

平成24年11月に始まり、工事が進んだ海岸堤防

## 勿来

区画整理や集団移転、堤防整備が行われた、小浜、錦町須賀、勿来漁港の様子です。

### 小浜地区

区画整理により整備された宅地に、次々と住宅が建ち並びはじめた小浜地区

### 錦町須賀地区

防災集団移転事業が実施され、新しい海岸堤防や市道錦町須賀5号線が完成

### 勿来漁港

被災した岸壁や防波堤などが復旧し、震災前の姿を取り戻した勿来漁港

## 四倉

道の駅よつくら港交流館が平成24年8月に再オープンしたほか、仁井田川堤防の整備工事が29年3月に完了しました。

### 道の駅よつくら港交流館

緊急時に屋上に避難可能になるなど、防災を意識した構造になった交流館

### 仁井田川河川堤防

整備中の海岸堤防に合わせて、高さ7.2mにかさ上げされた河川堤防

## 平

津波被害を受けた中学校校舎は解体し小学校校舎西側に整備され、甚大な被害を受けた町も復興事業が進んでいます。

### 豊間中学校校舎

旧校舎（右）は解体され、昨年4月から供用開始された新校舎（左）

### 薄磯地区

高台を切土し、平場を盛土する大規模土木工事が進められた薄磯地区

## 小名浜

道路・橋梁・河川の復旧工事が行われた永崎小前と、かさ上げ工事が行われた折戸地区の海岸堤防の様子です。

### 大平川1号橋

永崎小前の大平川1号橋は、橋長9.6m幅員10.7mで完成

### 岸浦海岸堤防

江ノ浦と合わせて全長約750mが以前の高さより約2.3mかさ上げ

四倉

## 記念講演と意見発表

1月27日、第26回四倉地区青少年健全育成推進大会が、四倉公民館で開かれました。

第1部では、市教育委員で呉服店代表の根本紀太郎さんによる記念講演「包み、包まれて」が行われ、第2部では四倉地区の小中学校と高校の代表者7名が、将来の夢や日頃考えていること、部活動の思い出などについて、意見発表を行いました。

講師の根本さんと小中高生の代表者

## 四倉地区成人式

1月7日、四倉地区成人式がいわき海浜自然の家で行われ、108名の新成人が出席。記念品贈呈、来賓祝辞に続き、新成人代表の糸井雄祐さんが誓いの言葉を述べました。

式典終了後の記念行事「祝20歳～翔け未来へ～」では、新成人が四倉中と大野中の恩師や同級生と再会して、旧交を温めました。

誓いの言葉を述べる糸井さん

## 復興事業説明会

12月22日、「四倉地区復興関連事業に係る地元説明会」が四倉支所で開かれました。

今年の夏、四倉海水浴場で行事を実施する予定の地元関係団体の代表者が出席し、県や市の担当者から、四倉海岸の堤防や境川の水門、防災緑地の盛土や植栽など、現在進められている工事の進捗状況の説明がありました。

パネルを使って説明する担当者

勿来

## カルタでふるさとを学ぶ

1月21日、「勿来&双葉かるたんか交流会」が吹風殿（すいふうでん）で行われました。

勿来地区住民のほか、同日行われた双葉町民向けのバスツアー参加者などが来場。昨年度と、今年度新たに制作された「勿来かるたんか」および、昨年度制作された「ふたばふるさとカルタ」の2つのカルタを使って、参加者は楽しく交流を深めました。

真剣勝負で絵札を取り合う参加者

## 地域誌について最終協議

1月15日、平成29年度小浜・岩間地区復興対策協議会第4回役員会が、勿来支所で行われました。

今年度の実施事業である地域誌の編纂（へんさん）について最終協議。制作を担当する小宅幸一さんから内容が説明されました。なお、同地域誌については、3月以降に小浜・岩間地区住民と公共機関へ配布される予定です。

制作中の地域誌を手に取り確認

## 繰り出す裸神輿（みこし）

1月7日、関田海岸で酉小屋が実施され、恒例の裸神輿では、中学2年生1名と地区の消防団員を含めた計8名が、担ぎ手を担当しました。

伊勢両宮神社を目指して地区内を練り歩いたのち、海岸へ戻り、威勢良く海へ飛び込みました。その後、集まった住民に見守られながら酉小屋に火が灯され、海岸を明るく照らしました。

寒さに負けず勇ましい姿を披露

## 久之浜・大久

### 公民館カンガルークラブ

震災後、中断していた未就園児を対象にした親子ふれあいの場「カンガルークラブ」が、久之浜公民館の自主講座として開講されました。

1月30日に行われた節分あそび

### 久之浜張子の世界展

12月9日から1月28日まで、市暮らしの伝承郷で「久之浜張子の世界展」が開かれ、独特の温かさを持った郷土玩具の魅力が紹介されました。

学芸員の解説に聞き入る来場者

### 恒例だるま市

1月8日、星廼宮神社でだるま市が開かれました。昨年再建された神社で行われるのは初めてとあって、多くの人がだるまを買い求めました。

夜明け前から開かれただるま市

## 平

### フォトコン表彰式

1月20日、とよマルシェ「豊間屋」内で海まち・とよまフォトコンテストの表彰式が行われ、最優秀賞のほか、13作品が入賞作品として選ばれました。

最優秀賞の表彰風景

### 豊間小「西会津交流会」

1月19・20日、福島県会津自然の家や西会津小学校で豊間小と西会津小の冬季交流会が行われ、昨年夏のいわき交流会以来の再会を果たしました。

カンジキを履いて楽しむスノーハイク

### 沼ノ内「水祝儀」

1月8日、沼ノ内の愛宕神社で約400年続く「水祝儀」が行われ、2人の初婿に祝い水を掛けて、無病息災や家内安全を願いました。

祝い水を掛けられる初婿

## 小名浜

### 脳トレカルタで交流

1月16日、市公営住宅永崎団地集会所で、NPO法人いわきFP・e-らいふが「カルタ大会」を開催。参加者は脳トレしながら楽しい時間を過ごしました。

童心に帰り笑みがこぼれる参加者

### リスポ50年の歴史に幕

1月15日、小名浜のタウンモール・リスポが閉店。16時からのセレモニーには、大勢の人が集まり、慣れ親しんだ商業施設との別れを惜しみました。

利用者代表と握手をする八巻理事長(左)

### 江名港で松送り

1月7日、江名港で松送りの行事が行われました。無病息災を願い、地元住民が持ち寄った正月飾りやだるま、お札などが焚き上げられました。

お焚き上げを見守る住民たち

いわき市ふるさとだより
No. 81
平成30年2月20日発行
●発行:いわき市 ●編集:有限会社 いまぁじゅ ふるさとだより編集室
●編集室:〒973-8411 福島県いわき市小島町3丁目3-3 プリンセス・アイ1F
Tel&Fax:0246-26-5157
Mail:furusato@asally.co.jp http://www.furusatodayori.com

## 「ふるさとだより」の事業終了について

日頃より、本市の市勢伸展にご理解をいただき、誠にありがとうございます。

また、「ふるさとだより」につきましても、ご愛読いただき、重ねてお礼申し上げます。

市におきましては、平成23年6月より、被災沿岸地域の復興に向けた取組みを後押しするため、「ふるさとだより」を発行してきたところであり、平成27年度までの当初の計画期間を延長しながら、現在まで取り組んできたところでありますが、今般、「ふるさとだより」につきまして、本年度末（平成30年3月号）をもって終了とさせていただくことといたしました。

改めて、これまでのご愛読に、心から感謝申し上げますとともに、ご理解のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

なお、今後も引き続き、市公式HPなどを通じて、被災沿岸地域の情報を発信していきます。

【問い合わせ】 市地域振興課 ☎0246-22-7414

## お知らせ

### 防災特集を収録したタウンページなどが発行

災害時に役立つ知識などの防災特集を収録した「いわき市版タウンページ」と、市内の公衆電話や避難場所などを掲載した「防災タウンページ(付録)」が発行されました。

【問い合わせ】
NTTタウンページセンター
0120-506309

## ふるさと伝言板

### 平成30年いわき市東日本大震災追悼式

日時／3月11日(日)
13:30～ 開場
14:35～ 開式
場所／いわき芸術文化交流館アリオス 大ホール

### 住まいと暮らしの再建相談会

日時／3月25日(日)
①10:00 ②13:00
③15:00 (各90分程度)
場所／中央台公民館
大会議室(1)(2)
定員／9組(各時間3組)

◆お申し込みは開催日の3日前まで

【問い合わせ】市ふるさと再生課
☎0246-22-7437

## ふるさとPICK UP

### 万が一に備えて防災体験

防災とボランティア週間に合わせて、市平消防署による「めざせ! 防災キッズ」が1月17日に平二小で、18日に夏井小で行われました。また17日にはヨークベニマル新谷川瀬店駐車場で起震車体験が、18日にはマルトショッピングセンター草野店駐車場で、防災広場が開催されました。

平二小

布と竹で作った簡易担架に、協力して人形を乗せる児童

夏井小

県内で1台だけという起震車も用意され、揺れの大きさを体験

マルト草野店

署員から消火器などの防災物品の説明を受ける参加者

防火衣を着て、消防車両の前で署員と記念撮影

## 担当記者が振り返る「ふるさとだより」のあゆみ

～平成28年度:小名浜地区担当 宗形祐子～

地区の担当をするのは初めてでしたが、地元の方々に教えていただきながら取材をした年でした。驚きや感動がたくさんあったなか、江名の郷土芸能「三匹獅子舞」の取材が印象に残っています。江名諏訪神社で行われた練習にもお伺いしたので、文化伝統保存会のみなさんと子どもたちが真剣に取り組む姿に、感銘を受けました。

次号はいよいよ最終回になります。

平成28年度3月号の表紙

勇壮な舞いを披露する子どもたち

動画の見方

①アプリをダウンロード

Download on the App Store
GET IT ON Google Play

②アプリを立ち上げ、パンダマークのある写真にスマホをかざす。
③自動的にスキャンが始まる。
④認識されたら、動画を再生。

※画像に光が反射しないようにスキャンしてください!